

[農]学部1年女子の 合格体験記

自己紹介

私は農学部の1年生です。栃木県から参りました。一般入試で入学しました。

東北大を志望した時期とその理由

志望した時期：高校2年生の夏

理由：もともと高校に入学する以前から東北大学は視野に入れていましたが、高校2年生の夏にいったオープンキャンパスで志望する気持ちは確固たる物となりました。それは、模擬講義のおもしろさや、自分のやりたいことができるカリキュラムなどに惹かれたからです。

受験期の勉強方法

数学、英語に関してはそれぞれ先生に添削指導をお願いしていました。数学はただ答えを出すだけではなく、その過程を説明するということが必要になってきます。そのため、先生に添削していただくことにより、説明不足のところを客観的に判断していただけるのでとてもオススメです。英語で添削していただいたのは英作文です。英作文ではときに日本語を直訳するのではなく、意味が変わらないように表現を変えて訳しだすことが必要になります。そのためのアドバイスや使えると便利な表現を多く教えていただきました。理科に関しては、表や図を作成して、自分だけのまとめノートを作りました。

モチベーションの保ち方

私は、とにかく東北大学に合格したいという気持ちをモチベーションにしていました。東北大学に合格した自分の姿を想像したり、合格後にやりたいことを自分の中でリストアップしたりして自身を奮い立たせました。しかし、その気持ちだけではどうしてもつらくなってしまうこともあります。そんな時は自分の好きな曲（主に応援ソング）を聴き、歌詞を自分自身に当てはめて元気をもらいました。

受験直前～当日

受験前日はひたすら受験のことだけを考えていました。受験会場がどこであるかというのは分かっていたはいましたが、念のため下見に行きました。勉強はあまりがっつりとやることはせずに、自分の不安なところの最終確認といったような感じでした。

本番当日は早めに受験会場に行きました。「先んずれば即ち人を制し～」とあるように、早めに会場に入り、人より先に雰囲気に触れておきたいと思ったからです。受験の間はとても緊張していましたが、今まで自分がやってきたことを思い出すことで自分に自信を持ち、気持ちを落ち着けていました。

【勉強】

高校生のときは自分一人でひたすら勉強していることがほとんどでしたが、大学に入ってから友達と一緒にわからないところを教えあいながら勉強することが多くなりました。不思議と、一人でやるよりも、自分のそばで勉強に励む友人の姿が目に入ったほうが集中でき、疲れたら少しお喋りできるのも楽しいです。大学の勉強では、とりわけ理科において、高校では触れなかったより深い内容を扱うので「あれはこういうことだったのか」と新たな発見があるのがとても楽しいです。

【サークル】

私はこのおおわんというサークル以外に、手話サークルに所属しています。手話の経験はそれまで全くありませんでしたが、友達について説明会に行ったときに少し手話を教えてもらい、とてもおもしろいと思って入りました。手話サークルの人たちは皆優しく、初心者の私にひとつひとつ丁寧に教えてくださいます。手話は、身の回りの身近なものや、動作などを手だけでとてもうまく表しており、新しい表現や、その手話の由来を知ることができるのはとても魅力的です。今は、手話検定の5級取得を目指して勉強に励んでいます。

受験生へのメッセージ

受験はときに辛いこともあります。それを乗り越えた経験はあなたの人生において貴重な経験となるはずです。皆さんの合格を心よりお祈りします。

